

2024年度 事業計画

社会福祉法人 和生福会

1. 2024年度 事業計画の概要

- 経営

- 稼働率の維持、改善
 - 入所系サービスは90.5%、通所系は91.5%を必達目標とする。
 - 居宅系サービスは、ケアマネジャー3人で要介護月80件以上の契約、要支援の方の契約も積極的に受け入れ40件以上をそれぞれ目標とする。
 - 地域連携の強化とスムーズな入退所の仕組みを構築する。
- 経営分析と戦略策定
 - 「和生福会の社会的責任」を意識する。
 - 介護報酬改定に伴う新しいサービス開始と既存サービス充実の2つの視点を持つ。
 - 分析・企画・促進などマーケティングに関する人材を開発し、チーム結成する。
 - 分析 3つの領域(和生福会、競合施設、消費者)を行い整理する。
 - 企画 トップダウン・ボトムアップの要素をバランスよく組み込む。
 - 促進 表現や媒体を工夫し、消費者の志向を喚起する。
 - 過程をPDCAサイクルにより把握し、柔軟に基本戦略の修正を行う。
 - 最終目標は和生福会ブランドの確立とする。
 - 毎月の収支を即時把握し、目標達成のため活用していく。
 - 稼働や支出状況の改善策を検討し実行する。
- 法人、グループ内での連携強化
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
- 地域貢献活動の充実
 - 地域の環境美化活動等に法人として参加し、地域住民と積極的に交流し、地域行事への参加、法人行事への参加を互いに促す。
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続していく。

- サービスの質

- 「じぶんを生きるをみんなのものに」の新グループ理念に基づき、利用者様のQOL向上

を目指し「じぶんらしく生きる」を支援する。

- 人材不足等によりサービス量が減少しても、生産性を高め、効率よく業務遂行できるような業務改善手法の構築をする。(生産性向上委員会の設置)
- 災害・非常事態等でも安定したサービスを提供するためのBCPを策定更新をする。

- 人材育成、職場環境の整備

- 職員の能力を見極め、その能力に応じた積極的な人材開発投資
- 虐待防止等、コンプライアンス遵守のためのシステム構築
- 個人の知識、スキル、経験を暗黙知にとどめるのではなく、共有できる文化形成
- 職員満足度調査による問題顕在化と、それに基づく施策の実施
- 業務継続困難な職員の個別支援による職員多様化の促進
- 特定技能制度の積極的利用
- 介護福祉をとりまく激しい環境変化に対応できるよう
 - 現場の意思決定(考え、判断し、実行する)促進のため、現場へ責任と権限の委譲
 - 組織／地域レベルでの思考の習慣化(主に役職者)
- 東南海地震等の災害を想定し、非常用発電機導入検討

- 改修工事

- 建物老朽化に伴うメンテナンス及び改修工事 厨房換気扇取替工事 ガス給湯器取替工事 LED化に伴う工事

- 介護報酬改定

- 特養
 - 収益(前年度比): +4.1%
 - 要因
 - 基本サービス費の改訂 +1.8%
 - 新設加算の取得 +1.8%
 - 居住費(基準額)の改定 +0.5%
- ショート
 - 収益(前年度比): +3.3%
 - 要因
 - 基本サービス費の改訂 +0.5%
 - 新設加算の取得 +2.4%
 - 居住費(基準額)の改定 +0.4%
- デイサービス
 - 収益(前年度比): +3.8%

■ 要因

- 基本サービス費の改訂 +0.4%
- 新設加算の取得
(2024年度算定要件緩和の加算有) +3.4%

○ 居宅介護支援事業

- 収益(前年度比): +1.7%

■ 要因

- 基本サービス費の改訂 +0.8%
- 新設加算の取得 +0.9%

2. 運営目標(稼働率、利用者数)

高齢者事業

● 特養(稼働率)

*2023年度:2024年3月の見込値を含む

事業所名	2023年度*	2024年度 目標
緑風苑 (入所)【100名】	99.9%	100.0%(+0.1%)
(ショート)【20名】	69.0%	81.0%(+12%)

● 通所介護(稼働率)

*2023年度:2024年3月の見込値を含む

事業所名	2023年度*	2024年度 目標
平成デイサービスセンター海南【22名】	86.6%	91.5%(+4.9%)

● 居宅(ケアプラン数)

*2023年度:2024年3月の見込値を含む

事業所名	2023年度*	2024年度 目標
緑風苑居宅介護事業所(要介護)	890件	972件(+82件)
(要支援)	421件	468件(+47件)

2024年 3月26日

2024年度 事業計画

社会福祉法人 和生福会

対象事業所

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

- 介護報酬改定及び稼働率を考慮した目標
 - 収益(前年度比):108%(稼働率 特養+0.1% ショート+12%)
 - 要因
 - 施設サービス費の改定: 特養103% ショート101%
 - 新設加算の算定: 特養110% ショート111%
 - 個別機能訓練加算Ⅲ(特養)
 - 協力医療機関連携加算Ⅱ(特養)
 - 認知症チームケア推進加算Ⅱ(特養)
 - 高齢者施設等感染対策向上加算Ⅱ(特養)
 - 生産性向上推進体制加算Ⅱ(特養・ショート)
 - 口腔連携体制加算(ショート)
 - 介護職員等処遇改善加算の単価の上昇(2024年6月より)
 - 食費の改定: 特養106% ショート104%
 - 利用者負担第4段階の食費1日1445円より1650円に変更
 - 居住費の改定: 103%
 - 2024年8月より居住費2006円より2066円に改定
- 主な指標 *2023年度:2024年3月の見込値を含む

○ 入所

	2023年度*	2024年度 目標
稼働率	99.9%	100.0%(+0.1%)
平均要介護度	3.7	3.8(+0.1)
単価(人・日)	14,124円	14,769円(+645円)

○ ショート

	2023年度*	2024年度 目標
稼働率	69.0%	81.0%(+12%)
平均要介護度	3.1	3.0(-0.1)
単価(人・日)	14,314円	15,101円(+787円)

- 実現するための取り組み
 - 稼働率
 - 入所・短期入所の連携と、現場との共通意識をもつ。
 - 短期入所は、利用者と家族の要望に応じ、必要な時に必要なだけ利用して頂く。
 - 入院先との調整、地域連携室・居宅とのこまめな情報共有。
 - より積極的な広報活動を行いニーズを把握する。
- じぶんを生きるをみんなのものに:QOLの向上
 - じぶんらしく生きる為の支援
 - 利用者様の生きてきた歴史を紐解いて利用者様の「自分史」を職員が知る。
 - 利用者様の「24時間シート」を作成し、利用者様ごとに支援する。
 - お風呂や食事及び排泄支援の時間や回数等
 - 既存の買い物サービスに加え、選ぶ楽しみを増やす。
 - 月1回以上の喫茶コーナー開設
 - 利用者の身体状態に合わせた福祉用具の選定・購入
 - 介護ロボットの選定と活用 介護移動用リフト・動作支援ロボット等
 - より良い看取りの実施のため、PDCAサイクルによって、その体制を適宜見直す。
 - 専門職の専門性の向上
 - 介護職のユニットリーダー研修受講。他職種もユニットケア研修受講。
 - 認定特定行為業務従事者(喀痰吸引等資格)を増やす。
 - 認知症リーダー研修の受講。認知症実践者研修の受講を促進し、職員の認知症への理解を深める。
 - 介護支援専門員・介護職員・管理栄養士の専門雑誌の購入と活用
 - 専門職実習生の積極的な受け入れ。
 - LIFEの本格的な活用。収集した情報をLIFEで分析しそれを基にサービス改善。これを繰り返すことで更なる改善を図る。
 - その他取り組み
 - 人事評価体制の構築と人材開発。

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

- 介護報酬改定及び稼働率を考慮した目標
 - 収益(前年度比): 109.7%(稼働率+4.9%)
 - 要因
 - 施設サービス費の改定: 100.5%
 - 加算: 92.9%
 - 新設加算の算定:
 - 個別機能訓練加算(I)口
 - 介護職員等処遇改善加算の単価の上昇(2024年6月より)
 - 算定不可加算:
 - 中重度者ケア体制加算 → 2023年度の実人数・延べ人数共に、介護度3, 4, 5の割合が30%満たなかった。
 - 取得加算:
 - ADL維持加算 I → ADL利得が2.4で算定要件を満たしたため
 - 認知症加算 → 2024年の算定要件見直しにより算定可
 - 食費の改定: 125%
 - 4月より400円/食を500円/食に変更

● 主な指標

*2023年度:2024年3月の見込値を含む

	2023年度*	2024年度 目標
稼働率	86.6%	91.5%(+4.9%)
平均要介護度	2.0	2.0(±0)
単価(人・日)	9,702円	10,010円(+308円)

● 実現するための取り組み

- 稼働率
 - 利用者のキャンセルを想定した曜日ごとの登録人数の確保継続
 - 居宅ケアマネへの毎月のアプローチの工夫
 - 毎身体験利用者を獲得することで新規利用に繋げる。
- 生活の質(QOL)の向上
 - 楽しみの中に「脳機能の活性化」「身体機能の維持・回復」等の目的をもったレクリエーションの充実。
 - 専門職によるリハビリ体制の充実
- その他の取り組み

- 感染症対策の継続
- 利用者さんの気持ちに気づき、体調の変化に気づき、本人も気づいていないちょっとした異常に気づく「気づく力」を養う。

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

- 介護報酬改定と担当件数を顧慮した目標

- 収益(前年度比): 110.4%(担当件数一人当たり+4件/月)
- 要因
 - 施設サービス費の改定: 100.9%
 - 新設加算の算定: 104.4%

- 主な指標

*2023年度:2024年3月の見込値を含む

	2023年度*	2024年度 目標
ケアプラン数(要介護) (要支援)	890件 421件	972件(+82件) 468件(+47件)
平均要介護度	2.4	2.4(±0)
単価(人・月)	11,846円	11,958円(+112円)

- 実現するための取り組み

- 担当件数
 - ケアマネ3人で、担当件数(ケアプラン件数)80件/月、介護予防40件/月以上を目標とし、安定した運営が図れるようにする。
- 加算について
 - 特定事業所加算Ⅲ算定
- 研修
 - 介護支援専門員として質の向上が図れるよう、積極的に研修に参加する。
- 関係機関との連携
 - 地域のケアマネ会に毎回参加し情報を得る。
 - 地域包括支援センターや医療機関との連携を強化する。
 - 困難ケースの受入も図る。